



大分県大分市 企業版ふるさと納税 (令和8年度プロジェクト)

～「誰もが“幸せ”を実感できるまちOITA」を目指して～



大分市長メッセージ



大分市長 足立 信也

大分市は、昭和39年の新産業都市の指定を契機に産業集積が飛躍的に進み、製造品出荷額等が九州1位となるなど、国内有数の産業都市として大きく成長しましたが、2016年をピークに人口は減少へと転じており、地域コミュニティの衰退や経済活動の縮小等が懸念されています。

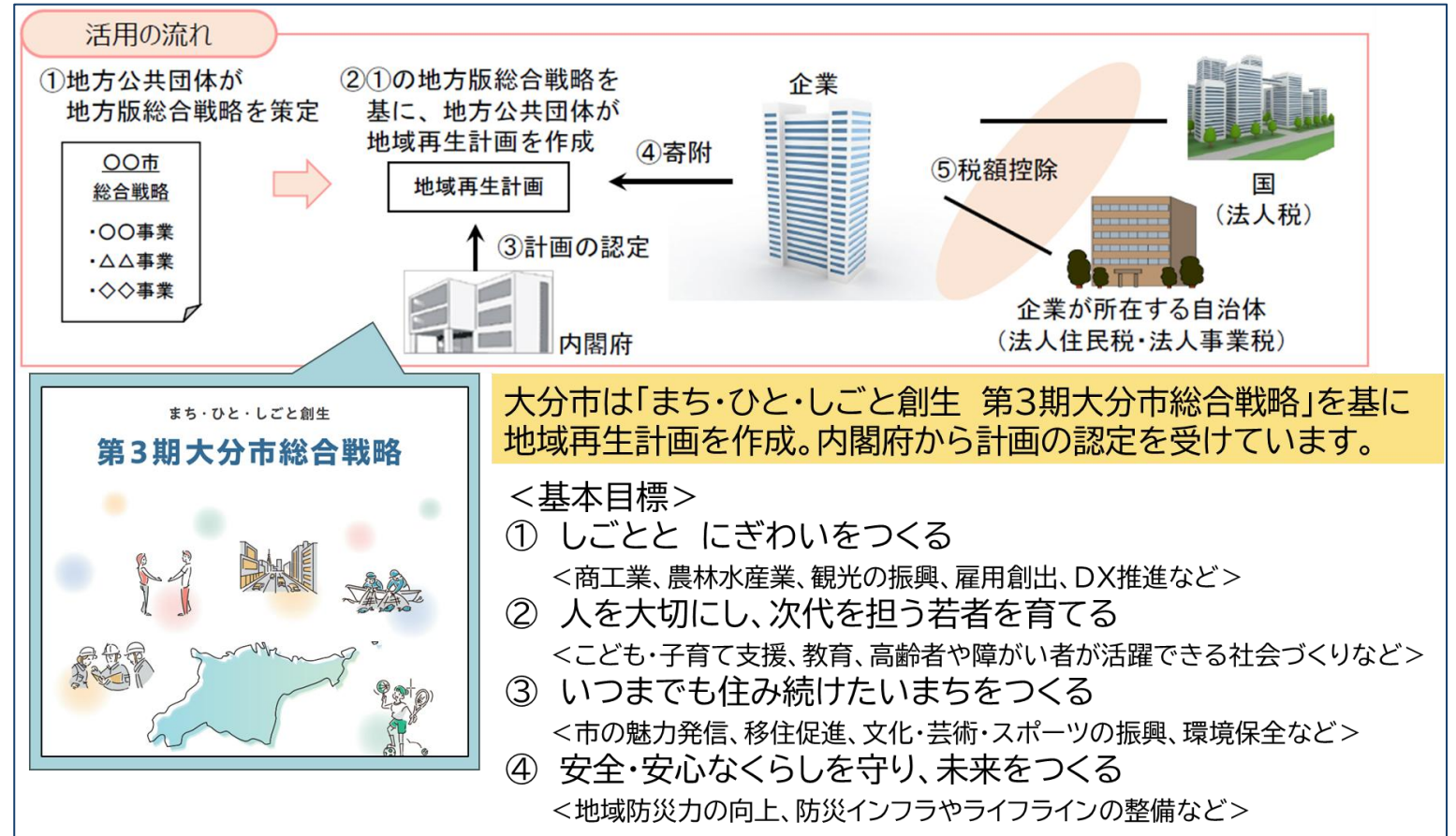
人口減少問題の克服に向け、地方創生の取組を加速化・深化させるため、大分市の取組に対する御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

企業版ふるさと納税の制度概要

企業版ふるさと納税とは？

国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の「**地方創生プロジェクト**」に対して企業が寄附を行った場合に、**法人関係税から税額控除**する仕組みです。

大分市は「**まち・ひと・しごと創生第3期大分市総合戦略**」を基に地域再生計画を作成し内閣府から計画の認定を受けています。



まち・ひと・しごと創生 第3期大分市総合戦略

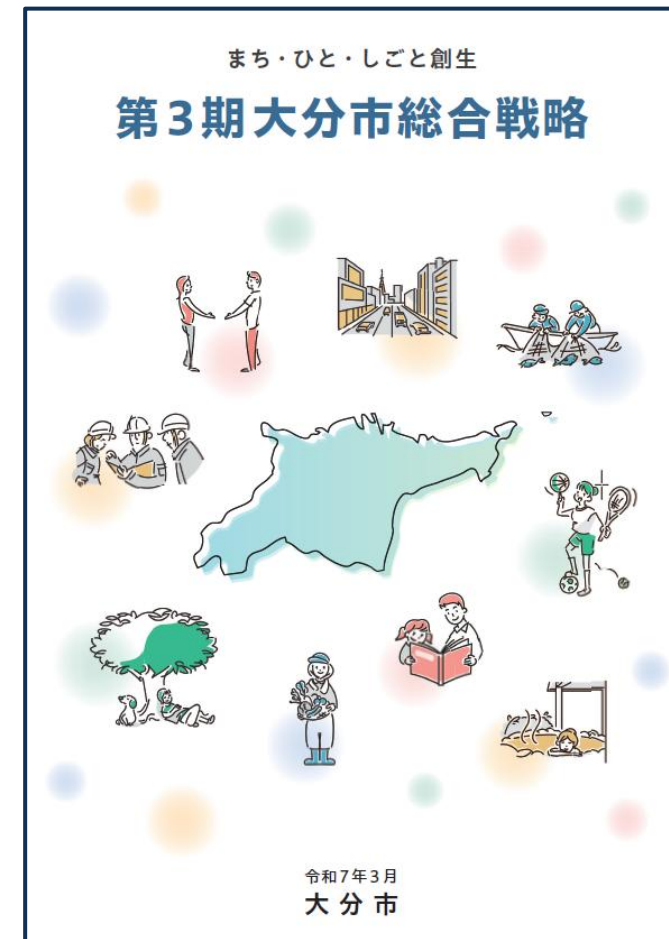
策定の趣旨

- 急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎えるなか、地方の若い世代が大都市部に流出することにより、人口減少が加速しています。
- そのようななか、大分市総合戦略は「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本市の「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な取組等をまとめるものです。

大分市の目指すべき理想像

- 総合戦略における大分市の地域ビジョン（目指すべき理想像）として、「誰もが“幸せ”を実感できるまち O I T A」を目指しています。
- 本市の人口について、自然減の抑制と社会増の両面から対策を進めるとともに、まちの魅力を高め、地域の活性化を図り、将来にわたり自律的で持続可能なまちづくりを進めるため、次の4つを基本目標として設定し、各種施策を進めています。

次ページからは大分市の地方創生に向けた施策の基本的方向や具体的な取組をご紹介します。
ぜひ市政へのご理解をいただき、ご寄附いただけますと幸いです。



基本目標 ①

しごととにぎわいをつくる

- 地域を支える産業の発展のため、デジタル技術を活用した機能強化や新たな価値の創造、製品の供給体制の充実を図ります。
- 多様な人材が活躍できる環境を整備するとともに、域内外の人材と事業者とのマッチング機会の創出等を通じて、創業支援や企業の経営基盤の強化を図ります。
- さまざまな分野の取組を戦略的かつ有機的に結び付け、市内外のひと・もの・情報の交流を促進し、まちのにぎわいと活力を創出します。

<本資料でご紹介する主な事業>

① 県都大分市の夏を代表するお祭り

「大分七夕まつり開催事業」

② 起業を志す若者の人材育成の充実

「若手起業家育成事業」

③ 地域を支える農林水産業の振興

「おおいた産品創出・魅力発信事業」

④ 産業都市「大分市」の産業観光の充実

「工場夜景クルーズ社会実装事業」

① 大分七夕まつり開催事業

事業の概要

昭和57年から開催している大分県下最大の夏祭りです。例年、8月第1週の金曜日を初日とする2日間開催し、多くの来場者で中心市街地のにぎわい創出に寄与しています。商店街内は趣向を凝らした色鮮やかな七夕飾りで彩られ、まつりムード一色となります。

企業のみなさまへ

令和7年度は2日間で約39万人が来場し、中心市街地の賑わい創出や地域経済の活性化に寄与しています。伝統文化の保存育成や市民が気軽に参加できる祭りを継続する必要があります。

大分七夕まつりは地域のにぎわい創出に大きな役割を果たしています。ぜひ、企業版ふるさと納税制度をご活用いただき、本事業へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取組内容

メイン会場の「48万人の広場」では、初日に武者姿や昇り龍を模った勇壮でダイナミックな照明入りの山車「府内戦紙(ふないぱっちゃん)」が威勢よく練り歩きます。2日目は、会場が歩行者天国となり、場内を自由に往来でき、各種イベントが楽しめます。



② 若手起業家育成事業

事業の概要

大分市の未来を担う若手起業家の発掘・育成を目的としています。
独自の起業支援プログラムの実施や育成施設「Mirattend」の運営を通じて起業家マインドを醸成し、イノベーション創出と地域経済活性化の実現を図ります。

企業のみなさまへ

大分市における人口減少や若者の流出が進む中、地域に新たな産業と雇用を生み出す起業家の存在は不可欠です。次世代の挑戦を質・量ともに持続可能な形で支援し、大分市から日本全体へ羽ばたくビジネスを創出するため、皆様のご支援が必要です。

大分市から未来の起業家を共に育てませんか？

皆様の寄附と知見が、若者の挑戦を後押しします。共創による新たな価値創出へ、温かいご支援をお願いいたします。

取組内容

- ・若手起業家育成施設「Mirattend(ミラテンド)」の運営
- ・先輩起業家等によるセミナー
- ・おおいた学生ビジネスプランコンテストの開催
- ・先輩起業家や企業等とのマッチングイベントやピッチイベントの実施



③ おおいた産品創出・魅力発信事業

事業の概要

大分市には、様々な特色ある農林水産物を活用した加工品がたくさんあります。魅力ある加工品を大分市ブランド『OitaBirth』として認証し、販売を促進することにより、市産農林水産物の消費拡大を図るとともに、大分市の魅力を発信することを目的としています。

取組内容

本事業では、市産農林水産物を使用した加工品の研究開発や商品化、販路拡大を支援しております。また、大分市ブランドとして認証した加工品を市内外の催事や百貨店に出展したり、東京においては常設の販売コーナーを設けるなど、販売促進・生産者支援を行っています。

企業のみなさまへ

大分市では、まだまだ多くの特色ある農林水産物が生産されており、それらを活用した加工品開発を検討されている生産者や事業者が多数います。

本事業を継続することにより、商品化及び販路拡大が促進され、本市の農林水産業の振興、生産者の支援および魅力の発信に寄与することが期待できます。

また、市産農林水産物を使用した加工品の販路を拡大することで生産者を支援します。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。



▼Oita Birth ホームページ▼



▼東京販売情報(コレド室町テラス)▼



④ 工場夜景クルーズ社会実装事業

事業の概要

九州・日本の工業をけん引する大分市臨海部の工場夜景を船上から鑑賞する本事業では、グリーン・コンビナートへと変化していく工場群を新たな魅力として発信することで、本市の魅力を乗船者に伝え、民間事業者の自走を目指し工場夜景クルーズの定着と普及を図っています。

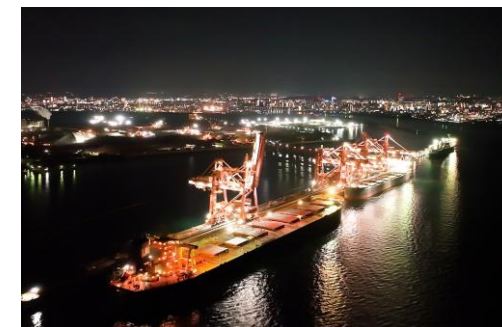
取組内容

- ・運航船舶:定員12名
- ・運航回数:5～10月に13日間30便
- ・乗船年齢:満3歳以上
- ・参加料金:大人4,000円
小学生以下2,000円
- ・その他:見どころを紹介するガイドつき
飲食持ち込み自由

企業のみなさまへ

大分市は昭和39年の新産業都市への指定を機に臨海部への企業の進出や関連する中小企業も数多く集積し、発展を遂げてきました。

大分市には、高崎山や温泉等有名な観光資源がありますが、市の礎であるこの工場群を活かし、観光資源として広く提供することで、新たな産業観光コンテンツの造成と西部海岸地区一体の魅力向上を図るため、今後も、工場夜景クルーズの定着と普及を目指したいと考えております。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。



基本目標 ② 人を大切にし、次代を担う若者を育てる

- 結婚から子育てに至るまで切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域や社会全体でこどもの育ちや子育てを支える環境を整えます。
- こどもたち自らが社会の創り手となり、たくましく生き抜く力をはぐくむ教育の創造に努め、すべてのこどもが健やかに育つことができるまちづくりを推進します。
- 人権を尊重し、互いに認め合うなかで、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち、幸せを実感できる社会の実現を目指します。

<本資料でご紹介する主な事業>

① 子育てを支える環境を整備

「子ども医療費助成事業」

② こどもたちへの学習機会の提供

「科学体験イベント実施事業」

③ 切れ目のない医療サービスの提供

「大分市地域医療情報ネットワーク整備事業」



① 子ども医療費助成事業

事業の概要

将来を担う子どもたちの健全な育成に寄与するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保護者が支払う医療費(保険診療に限る)の自己負担額を助成しています。

取組内容

大分市民かつ健康保険に加入している18歳到達後最初の3月31日までの子どもの医療費(保険診療に限る)が助成対象です。

小・中学生(市町村民税課税世帯)と高校生の通院については1医療機関につき1日500円(月上限4回)の一部自己負担があります。



企業のみなさまへ

子どもの医療費を助成する本事業によって、傷病の早期発見や治療を促進し、子どもの健康向上および子育て世帯への経済的支援を図ることができます。

子ども医療費助成事業を通じて「人を大切にし、次代を担う若者を育てる」ため、企業版ふるさと納税によるご支援をお願いします。

② 科学体験イベント実施事業

事業の概要

小中学生を対象にした科学体験イベントを通じて、科学への好奇心を育む場を提供し、子どもたちの可能性を広げ、次世代の理系人材の育成を図ります。市民が科学に親しむきっかけを作るため、小中学校の夏休み期間に参加型の科学体験イベントを実施します。

企業のみなさまへ

開催に当たりましては、大分大学や大分工業高等専門学校、市内高等学校をはじめとする教育機関のほか、本市を拠点に活動する企業・団体の皆様の御協力をいただき、様々な科学体験ブースを設置しています。

多くの子どもたちが科学の楽しさや魅力を体感するとともに、将来の職業や進路について考える機会を提供します。企業の皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

開催実績

【おおいたサイエンスパーク2025】

日 時: 8月23日(土)、24日(日)

10:00~16:00

場 所: 荷揚BASE(荷揚複合公共施設)

ブース: 52の科学体験ブースを実施

対 象: 小中学生(参加無料)

来場者数: 約5,400人



③ 大分市地域医療情報ネットワーク整備事業

事業の概要

患者さんの同意のもと、複数の医療機関における検査、診断、治療内容を電子的に相互に共有・閲覧することができるシステム、「おおいた医療ネット」を運営する「おおいた医療ネットワーク運営協議会」の業務支援を行います。

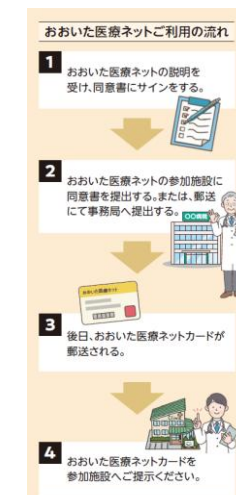
取組内容

地域の医療機関が「おおいた医療ネット」を活用して、検査、診断、治療内容を相互に共有、閲覧することで、受診する医療機関が変わっても、これまでの服薬状況や検査結果等の診療情報が正確に伝わり、継続して適切な治療を受けることができるようになります。

企業のみなさまへ

医療の形態が病院完結型から地域完結型への転換が進む中、本市においても患者のステージ(急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護など)に応じた医療提供を可能とする医療情報ネットワークを構築することが非常に大きな役割を果たしています。

子どもから高齢者まで一人ひとりに合ったより質の高い医療サービスが受けられ、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。



基本目標 ③

いつまでも住み続けたいまちをつくる

- 文化・芸術、スポーツの振興等を通じて、地域の活力と魅力を最大限に引き出し、誰もが住み続けたいまちづくりを進めます。
- 移住希望者の多様なニーズに対応した支援策等について、戦略的かつ効果的なプロモーションを行い、移住・定住を促進します。
- 豊かな自然を次世代に引き継いでいくため、多様な分野で脱炭素化に取り組むとともに、循環型社会を形成することにより、環境の保全に努めます。

<本資料でご紹介する主な事業>

- ① まちの魅力を生かした移住の促進
- ② 大分で活躍する人材の育成・確保
- ③ スポーツによるまちづくり
- ④ 個性豊かな文化・芸術の創造と発信
- ⑤ 多文化共生のまちづくり

「お試し移住補助事業」

「返還免除型 奨学助成事業」

「おおいたアーバンスポーツ推進事業」

「アーティストバンク推進事業」

「多文化共生ともだちプロジェクト」

① お試し移住補助事業

事業の概要

移住検討者が本市に一時的に滞在（お試し移住）して行う、仕事探し、住居探し、生活環境の確認等の移住活動にかかる経費の一部を補助し、実際に本市での生活を体験する機会を提供しています。

企業のみなさまへ

実際に大分市での生活を体験する機会を提供することで、移住に対する不安の解消や、移住を後押しをすることで、移住者数の増加を図っています。

大分市においても2016年をピークに人口は減少へと転じ、地域コミュニティの衰退や経済活動の縮小等が懸念されています。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

取組内容

■補助対象経費/補助金額

※補助率2分の1

①宿泊費:1泊一人あたり上限5,000円
(小学生以下は上限3,000円)

◆最大3泊まで

②交通費:最大上限20,000円

◆地域により上限額が異なる

③レンタカー費:4,000円/日

◆最大4日まで

大分市
お試し移住補助金

大分市での生活を体験してみませんか？
大分市内での移住活動にかかる経費の一部を補助します。

宿泊費	交通費*	レンタカー費
1泊 一人 上限 5千円 (小学生以下は上限3千円)	一人往復 上限最高 2万円	1日当たり 上限 4千円

※交通費は居住地地域によって上限額が異なります。
注1)申請前に市担当者のヒアリングがあります。注2)各経費の補助率は2分の1です。
大分市おいたち地方発信 TEL:097-578-7749 Mail:miriyoku@city.ofta.lg.jp

お問い合わせ

② 返還免除型 奨学助成事業

事業の概要

大学等に進学した学生が卒業後5年間、本市に居住または市内の事業所等で働くことで奨学資金の返還を免除します。進学を志す学生の経済的な負担軽減と大学等卒業後に本市で活躍する人材の育成・確保を図ります。

企業のみなさまへ

本奨学資金制度が目指す、将来的に大分市で活躍する人材の育成・確保は、人口減少や少子高齢化等の社会課題への対応策の一つとして、継続的に行う必要があると考えています。

大分市の未来を担う若者たちの進学を、ぜひ応援いただければと思います。各企業様のご支援を心よりお願い申し上げます。

取組内容

貸与金額:入学一時金500,000円
(県外進学者は800,000円)
学 費:年額500,000円

【令和7年度の実績】
市内高等学校等在籍者21名
市外高等学校等在籍者1名
計22名を採用しました。

令和9年度大学等進学予定者(現役生)対象

大分市返還免除型奨学資金

奨学生募集



▼事業募集 ホームページ▼



③ おおいたアーバンスポーツ推進事業

事業の概要

若者に人気の高まるアーバンスポーツのイベントや大会開催、施設の活用を通じて、若者の活躍の場を創出するとともに、交流人口の拡大や地域活性化につなげ、持続可能なまちづくりを推進します。また、競技の普及促進とアーバンスポーツ都市の実現を目指します。

企業のみなさまへ

若者に人気のアーバンスポーツを地域に定着させ、にぎわい創出や交流人口の拡大につなげるためには、アーバンスポーツのイベントや大会開催、施設運営を継続し、持続可能なアーバンスポーツ環境を構築することが必要です。

未来を担う若者の挑戦と成長を応援し、スポーツの力で地域に新たな活力とにぎわいを創出するため、皆様の温かいご支援をお願いいたします。

取組内容

アーバンスポーツフェスやスケートボード大会、初心者向けの教室を開催するとともに、3x3バスケットボールコート及びスケートボードパークを適切に管理し、利用状況や事業効果を検証することでアーバンスポーツ推進構想の策定につなげます。



④ アーティストバンク推進事業

事業の概要

市民が多彩な文化・芸術に触れる機会の充実を図るため、文化・芸術活動を行う団体や個人(アーティスト)とその発表の場「スポット」の情報をデータベース化し、双方のマッチングを促進する「アーティストバンク推進事業」に取り組んでおり、専用ウェブサイト「POART/ポート」を運営しています。

企業のみなさまへ

大分市は市民が日常的に文化・芸術に触れることができる豊かな地域社会の実現を目指していますが、イベント等による認知度拡大や、マッチングを支える中間人材の育成・活用など、中長期的な運営基盤の確立には安定した財源が不可欠です。

POARTを地域に根差したプラットフォームへ成長させるため、企業様からの温かいご支援をお願いいたします。

取組内容

- ・アーティストバンク専用ウェブサイト「POART/ポート」運営
- ・POART登録者を活用したアートイベントの開催
- ・アーティスト派遣事業「おでかけPOART」(アウトリーチ)
- ・POART登録者応援事業補助金
- ・アートマネジメント人材を活用したマッチングサポート(相談対応業務)



大分市アーティストバンク
専用ウェブサイト「POART/ポート」



⑤ おおいた多文化共生ともだちプロジェクト

事業の概要

外国人市民と日本人市民が共に安心して暮らせる地域づくりを進めるため、支援人材の育成、意識啓発、多言語による情報発信、交流イベント、異文化理解を促すプログラム、姉妹都市をはじめとした国際交流等を総合的に実施し、多文化共生を促進しています。

企業のみなさまへ

外国人市民を地域をともにつくるパートナーと捉え、企業の皆さまとともに「国籍を問わず誰もが暮らしやすいまちおおいた」を実現していきます。

外国人市民の増加と多様化により、生活支援や情報提供、交流機会の充実が急務となっています。継続的な支援体制を構築し、多文化共生を地域に根付かせるため、企業の皆様からの温かいご支援をお願いいたします。

取組内容

国籍や文化的背景の異なる住民が共に安心して暮らせる地域づくりを進めるため、支援人材の育成、意識啓発、多言語による情報発信、交流機会の創出や異文化理解を促すプログラム、姉妹友好都市等との国際交流を総合的に実施し、多文化共生を推進します。



基本目標 ④

安全・安心な暮らしを守り、未来をつくる

- 自然災害などあらゆる不測の事態に対応するため、市民と行政、防災関係機関が連携・協力して、災害に強い、安全・安心なまちづくりを進めます。
- 均衡ある発展と秩序ある市街地の整備を進め、バランスのとれた都市の創造を目指します。
- 大分県や周辺市町をはじめ、さまざまな関係機関等と連携を図り、住民の生活に不可欠なサービスを維持・確保するなど、未来に向けた持続可能なまちづくりを進めます。

<本資料でご紹介する主な事業>

① 住民の早期避難へつなげる災害対策

「水害時避難支援事業」

② 災害に強い安全・安心なまちづくり

「被災者救援物資備蓄事業」

① 水害時避難支援事業

事業の概要

内水被害が発生する地区や中小河川の氾濫危険箇所に水害監視カメラ及び水位標示板を設置することにより、迅速かつ的確な水防活動と市民の早期の自主避難につなげます。

取組内容

市内36か所に設置している水害監視カメラについて、保守・維持管理を行うとともに、YouTubeによるライブ配信を実施しています。浸水被害が予想される場合にはケーブルテレビでもライブ配信を行い、インターネット環境のない市民にも情報提供を行っています。



企業のみなさまへ

気候変動に伴い、近年の自然災害は激甚化・頻発化しており、市民の生命・財産が危険にさらされ、地域経済にも深刻な影響を及ぼしています。迅速かつ的確な水防活動と、市民の早期の自主避難を促すためにも、本事業の重要性は一層高まっています。

一級河川である大分川、大野川が流れる本市では、毎年のように浸水被害が発生していますが、本事業により浸水被害が頻繁に発生する箇所の状況をリアルタイムに把握できるため、迅速かつ的確な水防活動と、市民の早期の自主避難が期待できます。本市の安全・安心なまちづくりへのご支援をよろしくお願いします。

大分市水害監視カメラシステム
ホームページ



② 被災者救援物資備蓄事業

事業の概要

大規模災害時に、外部からの救援物資等が供給できる体制が整うまでに必要な食料や飲料水、生活必需品等を地域の防災拠点となる施設に分散備蓄を行うことで災害発生初期段階における被災者救援体制の強化を図ります。

取組内容

大規模災害に備え、被災1日後の想定避難者数約10万人分の食料や飲料水等の救援物資を指定避難所である小中学校等に分散して備蓄し、賞味期限のある物資については適宜更新を行っています。

企業のみなさまへ

近年、自然災害は激甚化・頻発化しており、また、今後30年以内に60～90%の確率で発生する南海トラフ地震の発生も懸念されています。このような状況において、災害発生直後から被災者に対し迅速かつ適切な支援を行うためには、食糧や飲料水、生活必需品などの救援物資を平時から備蓄しておくことが重要です。

被災時に必要となる物資を、あらかじめ指定避難所である小中学校等に分散備蓄しておくことで、大規模災害時に被災者の円滑な救護が可能となります。本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますと幸いです。

